

鶴見区区政会議 平成29年度第2回つる魅力向上部会

1 日時

平成29年9月27日（水） 19時00分～19時58分

2 場所

鶴見区役所 4階 403会議室

3 出席者

（委員）

岡本部会長、大原副部長、佐々木委員、猿渡委員、田中（潔）委員、柴田委員

（区役所）

河村区長、野村副区長、奥本区政企画担当課長、阪東魅力創造担当課長、

中谷区政企画課長代理、大山総務課担当係長、後藤総務課担当係長、

山本総務課担当係長、浅田窓口サービス課担当係長

4 議題

1. 平成30年度鶴見区取組みの方向性について

5 議事

開会 19時00分

○浅田窓口サービス課担当係長 皆様こんばんは。それでは、ただいまから鶴見区
区政会議平成29年度第2回つる魅力向上部会を開会いたします。

私、本日の司会を務めさせていただきます、窓口サービス課担当係長の浅田でございます。よろしくお願いたします。

まず、冒頭にお知らせがございます。

長年、鶴見区区政会議委員を務めていただきました木村武史様におかれましては、
8月18日にご逝去されました。鶴見区区政会議の発足当初から委員を務められ、各
方面におきまして鶴見区政に多大なご協力を賜りましたこと、この場をおかりしお礼

を申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

では、本日は案内文でお知らせさせていただいておりますように、部会の終了後、フリーディスカッションを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これより議事進行を岡本部長にお願いいたします。部長、よろしくお願いいたします。

○岡本部長 どうも、こんばんは。岡本でございます。

皆さん、お仕事、いろいろお疲れのところ、本当にありがとうございます。

今日で最後の会になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、早速ですが、議題1、「平成30年度鶴見区の実施の方針について」事務局から説明をよろしくお願いいたします。

まずは、経営課題1「つるの魅力の創造・発信」からよろしくお願いいたします。

○後藤総務課担当係長 魅力創造担当係長の後藤でございます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

それでは、資料1「つるの魅力の創造・発信」をごらんください。この資料に沿って、説明をさせていただきます。

まず、これまでの取り組みですが、区民が世代を問わず区への愛着を深めるとともに、区外にも広く鶴見区の実力を発信し、魅力的な区と感じる人が増えることを目的にやってきました。

今年度の取り組み実績ですが、まず、『トワイライトコンサート』ですが、これは平成27年10月から実施しております。『発見！！つるの魅力』冊子の転入世帯への配布を、平成28年4月から転入世帯に、全ての新規転入の方にお渡しさせていただいております。『つるみワールドフェスタ』、これは平成27年10月から開催しております。今年度につきましては、2週間後の10月9日に鶴見緑地で開催させていただきます。続きまして、『つるみミュージック&アート』は、今年度の新規事業でございます。これにつきましては、11月3日、区民ホールで予定させていただいて

おります。『ウィンターフェスティバル』は、平成26年12月から開催しております。本年度につきましては、12月9日を予定しております。『スプリングフェスティバル』は、平成29年3月からでございます。これは、『ブランドフェスティバル』の、前身でございます。続きまして、『つる魅力検定』ですが、これは今年度の新規事業でございます。『楽園会議イベント』ですが、平成25年度から実施させていただいております。

現状と課題についてですが、子育て世代が多く、地域への愛着や世代を問わず交流やつながりが求められており、鶴見緑地等を活用したイベントの開催や区民ニーズの高い音楽系のイベント、子育て世帯を対象としたイベントを開催しています。鶴見区の歴史や町の魅力に触れる機会を創出することにより、子育て世代をはじめ幅広い世代に生活環境や利便性だけではない鶴見区の魅力を感じていただき、愛着を持っていただく取り組みを引き続き必要だと考えております。

それを踏まえまして、平成30年度の取り組みの方向性ということですが、これまで区の魅力の創造や区内外に魅力を発信する取り組みとしてさまざまなイベントや事業を実施してまいりました。さまざまな魅力を創造するため、多くのイベントや事業を行ってまいりました。30年度にこの事業内容を振り返る検証をすることにより、効果的な事業、期待する効果がなかった事業、新しく取り組む事業について振り分けていきたいと考えております。やはり、どの事業、どの内容につきましても、どこかのタイミングで振り返るということは必ず必要となってくるかなと思っておりまして、30年度に向けてイベントや事業を全て振り返りたいと考えております。個々のイベント等の事業がもともとの趣旨からそれていないか、鶴見緑地等で実施している民間主催のイベントと重なっていないか、区役所のほかの課が行っているような同じような内容とどのような違いがあるのかというような観点を踏まえまして、事業について廃止も含め再構築を行いたいというふうに考えております。

私からの説明は以上ですが、皆様のご意見をいただきたく思います。

○岡本部長 今のご説明に何かご質問とかご意見あれば。

我々の後の30年度の方々に向けて何かお伝えすることがあれば、ここでお話しただけでもいいかなというふうに思います。区役所のほうも内容の、事業の再確認、そういうことをしていきたいというふうにおっしゃっていますので、今まで皆さんが感じられた、事業の中でこれはよかったとか、これはちょっと考えてもいいんじゃないかというようなのがあれば、忌憚なく意見いただけたらいいかなというふうに思います。

どうぞ。

○大原副部長 取り組みの方向性の中で、もともとの趣旨からずれていないかというのを改めてご確認いただくということは、とても大事なことだと思います。その中でちょっとちっちゃなことなのかもわからないですけど、2つほど検討いただきたい内容が。

まず、いろんなイベントのタイトルのところ、タイトルですね。ワールドフェスタというのもひょっとしたらふわっとして、これはどういうイベントなのかなというのが、人にとってはわかりにくいかもわからないので、そういったところのタイトルも改めていただければというのがまず1点と、あと、もう一つが受け手にとってのわかりやすさというのをちょっと気にしていただきたいなと思うんです。例えば一つのポスターないしチラシなりを見たり、こういった名前も一つなんですけど、受け手の人がどうとらまえるかというか。ウィンターフェスティバルというのも結構でかい内容で、やっている内容はすごいでかいと思うので、ただそのときに例えば1個1個の、後で広報の話も出てくると思うんですけどそのチラシとか一つの中に、目的とか、目的というか、誰にこれに来ていただきたい、これはどういうようなイベントなんだというのをできるだけ上のほうに書いていただきたいなと思うんです。ポスター見るときって一番、僕ら上を見るんですけど、上を見て下まで行かないですよ。下って最後の興味があったら下まで行くので、例えば人を引きつけるためのワードとか

タイトルとか、それとか説明だとかというのをできるだけ目につくところ上部のほうに何か持っていく。それは、ポスターの一例なんですけど、それに限らず何かいろんな取り組みも人に心に響く。これ私ら呼ばれてるんだなというように思うような何か表現を工夫いただければなと思います。

結構、最初はおっと、フェスティバルや、ワールドやと思ってぱっときたと思うんですけど、最近やっぱり毎年になってくると何かみんな見なれてこなれてしまってるのかなという印象があったんで、そういったものも何か言葉尻ですけどご検討いただければと思います。

○岡本部長 ほか、意見。どうぞ。

○田中（潔）委員 この一番下の括弧でくくったところなんですけども、この鶴見緑地等で実施している民間主催のイベントと重なっていないかということが書いてあるんですけど、これはもうちょっと具体的に何かありますか。今、つるみワールドとかウィンターフェスティバルだとかありますが、そういう中での重なっている部分って。

○後藤総務課担当係長 そうですね。すべてが重なっているわけではございませんが、指定管理とかがやられているイベント、例えば近くにあるのであれば鶴見緑地フェスタとか。

○阪東魅力創造担当課長 音楽系のイベントなんか結構多いですよ。スプリングフェスティバルって書いてますけれども、これはミュージシャンが出てくるんですけども、重なったミュージシャン、同じミュージシャンがパークセンターの指定管理のところに出てたりとか、重なっているイベントはあります。

○田中（潔）委員 そういう例えばスプリングフェスタなり何でもいいんですけど、このフェスティバルの中で事業を主催しているところが重なっている意味ではなくて。

○後藤総務課担当係長 はい、主催だけでなく、内容ですね。重なっていることは問題だということではないのですが、参加される方から見れば、それが区の事業なの

か民間事業なのかというのが多分わからないかと思うんです。民間主催のイベントで同じようなことがあるのであれば、区は違うことを考えていけばいいのかという思いもございます

○田中（潔）委員　それは鶴見緑地という、そういう物すごくいい施設というんですかね。そういう場を持っていますから、それぞれの団体が計画していろいろやられますわね。そういうところと重なっちゃうという意味ですか。

○後藤総務課担当係長　そうですね。重なることが全然悪い意味ではないんですけども、重なるのでありましたら、また違うことも考えていくということも考えないといけないのかなというふうに思いまして。

○田中（潔）委員　私は個人的には、コラボをすることはいいと思うんです。だから、同じような趣旨であれば一緒にやりませんか。共催というか、そういうことを考えられたほうがいいと思っている意見なんです。それはなぜかといいますと、やっぱりいろいろ大きな企画をやって皆さん大変だと思います。たくさんの行事ですね。やる以上、やっぱりキーワードとしては集客力。人がやっぱり集まらないと話にならないと、このフェスティバルをやってもですね、100人しか来なかったというのと1,000人来たというのでは、全然意味合いが違ってくると思うんですよね。だから、コラボして一緒にやりませんかという形はいいと思うんです。そう思っているんですけど。

それと、やっぱりその中身ですね。フェスティバルのそういう中身が、やっぱり今さっきご意見あったと思うんですけど、大原さんのですね。満足度というんですかね。参加した人、演技する人も含めてですね。参加した人、それから来訪者がよかったなと、今日の1日は楽しかったなと言って帰ってもらえるような満足度ですね。そういうものを考えながら企画されたらいいと思いますけどね。

○岡本部長　最後、猿渡さん、どうですか。

○猿渡委員　四角の中を見させていただいて、一番下の取り組みの方向性の黒のひし

形の3つについては、少しこの流れの中では僕個人としては違和感があります。というのは、もともとの趣旨からそれていないかどうかというのは常々検証が必要かなと思うので特にあれなんですけど、下の部分に関しては田中委員おっしゃるように民間主催のイベントだから参加するのでは恐らくないだろうと。区主催だから参加する人もおるでしょうけど、個人的にはそういう方は非常に少ないんじゃないかと考えております。楽しそうやからきっと参加するのが基本ではないのかなというところになると、重なってるどころであればコラボレーションという話が当然出てきてしかりでしょうし、それでもしウィン・ウインの関係が築けるのであればそうしたほうがどちらにとってもメリットが大きいのではないかとということと、一番下の他課が行っている同じような内容とどのような違いがあるのかというのは、いささか疑問というか、なぜここにこれが出てくるのかちょっとよくわかりません。むしろ、協調性であるとか、独自性を追求するのがいいというところであればここにあってもいいような中身なんだろうけども、独自で何か立ち上げる、やっていかんとあかんというようなスタンスでは僕は物を今まで考えてきていなかったもので、他課と行っている同じような内容のものがあったとしてもよくないのかなというところなんです。なので少しポジティブな視点で考えたほうがいいような気はします。

○後藤総務課担当係長 ありがとうございます。ちょっと表現の仕方がうまく書けていなくて申し訳ございません。他課と連携、一緒にとというような意味合いで書かせていただいたところでございます。同じ区ですので、自分のところの、例えば私たちの課、ほかの課とばらばらではなく、一緒にやれることはないかという意味合いで書かせていただきました。

○柴田委員 子育て世帯というのは、どのぐらいの子からのことをお考え。ちょっと内容的に今いろいろ地域でも活動、サークルとかやっていますけれども、その子たちも含むのであれば、その子たちの対象になるものをもう少し入れていただけたらと思うんですけど。子育て世代が多い地域と頭に出ている割には、内容的に対象者がち

よっと違うんじゃないかなと思う部分がある。何かそういう行事があっても、そういう子たちを連れて行っても大変なことが多いんです。だから、そういうことを少し踏まえていただけたらなと感じたことがありましたので。

○阪東魅力創造担当課長　　そういう意味では、ここに書いてあるのはほとんど大人向けのイベントですので、鶴見区の特長という意味ではもうちょっと、例えば赤ちゃん連れとか。

○柴田委員　　現状とか課題となっている子育て世代が多いと書いておられるので、そういうことをちょっと気になりましたので。

○阪東魅力創造担当課長　　だから、ちょっとそういうふうな我々も大人向けのことで魅力を発信しているんですけども、区の特長を考えるともうちょっとその下の世代をめざしたようなイベントにも取り組まないといけないと。

○柴田委員　　まざっても、そういう子どもが来ても参加してもいけるような場所があればと思いましたけども。

下のほうでされているコンサートも、サロンなんかでもボランティアで回ってくださるんですけど、音が多過ぎる、声でも。だから合わないです。結局はボランティアに行きたい行きたいっておっしゃるんですけども、結局はそういうようなのでちょっと合わないんです。

○阪東魅力創造担当課長　　サロンってどんなサロン。

○柴田委員　　子育てサークルなんかでね。

○阪東魅力創造担当課長　　ああいうところで大きな声で歌うんですね。

○柴田委員　　歌われるんですね。だから、そういうのは結局合わないんですね。

○阪東魅力創造担当課長　　せやから、我々としては大体ポップ系のかなりの音量が出るようなグループが多いんで。

○柴田委員　　ちょっと1階のあれ聞かせてもらったことがあるんですけどね。

○後藤総務課担当係長　　そうですね。ちょっと音は大きいですね。

○柴田委員　　ママさんはいいだろうけど、例えば子どもを連れてきたときにね。そういうところもちよっと難しい、世代の幅が広がるからあれですけども。

○阪東魅力創造担当課長　　今後はそういうような視点も我々ちよっとよう考えていかないと、大人ばかりではあかんということもここに書いてあるんですけども。

○柴田委員　　だからハンドベルとかボランティアでやっておられるんですね。かえってそんなほうが合うんですよね。そういうときはいいけども、ふだんは合わないですもんね。イベントとかなると、そういうのではね。だから、そういうことが難しいですね。

○後藤総務課担当係長　　対象者について、いろいろと考えていきたいと思います。

○柴田委員　　特に乳幼児のそれがちよっと気になってます。

○阪東魅力創造担当課長　　だから赤ん坊連れではなかなか参加できないことも多いと思いますので、そういうような方が参加しやすいようなイベントというのも考えていかないと。

○柴田委員　　音は非常に問題です。

○後藤総務課担当係長　　確かにそうですね。

○柴田委員　　すみません。

○後藤総務課担当係長　　ありがとうございます。

○岡本部会長　　よろしいですか。大丈夫ですか。

○後藤総務課担当係長　　皆さんに1点ご報告させていただきます。今年のウィンターフェスティバルの内容が決まりました。

今年で4回目の開催ですが、今年は内容が変わりまして、今までは光の花栈敷ということで光のイベントだったんですけども、今年はスポーツ系のイベントに変わりましたということ、この場をおかりしまして、ご報告をさせていただきます。

まだ内容につきましては、詳細のところまで今詰めている最中ですが2020年のオリンピックやラグビーワールドカップということで、これからスポーツのほうに注目さ

れていくということでプロポーザルの選定委員の方が選定した結果、決まりましたので、ご報告をさせていただきました。

○阪東魅力創造担当課長 今までの選び方というのは審査員の方の3名を呼んできて、それで採点してもらいんですけども、今年はもちろん去年並みのレーザー光線を使ったのが出たんですけども、そういう意味ではスポーツ系に着眼した内容のスキームが点数を上回ったということです。今後、区民の方が参加できるような催しももちろん考えていかなあかんと思いますので、また広報はしっかりやらせていただきますので、ちょっとそういうような去年と変わっているということだけお知らせしたいと思ひまして申し上げました。

○岡本部長 ありがとうございます。

じゃあ、次よろしいでしょうか。お時間もございますんで、それでは、同じく経営課題1「「環境」や「花と緑」をキーワードにした取組みの推進」の説明をよろしくをお願いします。

○山本総務課担当係長 総務課魅力創造担当の山本です。どうぞよろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

それでは、「環境」や「花と緑」をキーワードにした取組みの推進についてご説明いたします。

これまでの取組みの中で、目的としまして、環境をキーワードにした取組みを通じて環境に対して関心の高い区民の割合を増やして、区全体にエコ活動の流れを創出し区の魅力創造につなげる。また、多くの区民の方が、花と緑に関心を持っていただき、潤いのある花と緑のまちづくりを進めることで、世代を超えた新たなコミュニティの形成や地域の活性化を図ることを目的として取り組んでおります。

取組み実績としましては、これまで実施しております環境フェスタ、今度10月に3回ほど実施します環境学習講座、また地域や幼稚園・保育園と連携した鶴見緑地でのホタル幼虫放流、種花活動のほか、種花活動で地域の子どもたちとの花植え実施

といたしまして、昨年度新たに鶴見菊水幼稚園の園児さん約130名と鶴見地域の方々と鶴見南公園で、花飾りをして交流をしてみました。また今年度もボランティアさんの意向もお聞きしながら実施できればと考えております。また、区政会議でもご意見をいただきました、咲くやこの花館との連携による園芸の講習ということで、咲くやこの花館のご協力によりまして、11月3日金曜日、祝日に区民センターでコンサートやアート作品の展示を行う「つるみミュージック&アート展」を行うんですけれども、そのイベントの中でワークショップとして植物の寄せ植えや缶バッチづくりを実施していただくことになりました。このイベントは幅広い年齢層の方が来られると思っておりますので、親子でも楽しく体験していただければと思っております。

続きまして、現状・課題といたしましては、区民アンケートによりますと環境意識が高まっている区民の割合が増えてきているんですけれども、当区に多い子育て層を主な対象としまして、わかりやすく親しみやすい内容で引き続き効果的な取り組みを実施していく必要があると感じております。また、引き続きまして種花活動のボランティアさんの負担軽減や活動しやすい環境づくり、地域コミュニティの拡大を図っていく必要があると感じております。

平成30年度の取り組みの方向性といたしまして、環境フェスタの開催ですけれども、民間企業の社会貢献活動、CSRを活用して、これまでも子どもたちが楽しく環境について考える機会となるような内容で実施をしております。参加者のアンケートにおきましても、皆さん参加したことに満足していただいております、イベントに参加した理由といたしまして、「環境問題や内容に興味があった」とか、「子どもの学習のために」ということをご参加いただいております、また内容に関しても参加者の方からは好評を得ていると考えております。引き続き民間企業との連携・協力のもと、親子で楽しみながら環境の大切さを感じていただける内容で実施をしていきたいと考えております。また、より多くの方にご参加していただくため、平成30年度は7月、8月の夏休みでの実施をしていきたいと考えております。

また、種花活動につきましては、ボランティアの方々へのアンケートを実施しております。そのアンケートの中で種花活動の活動をしてよかったと思う点におきまして、ボランティアさんの方々から「花づくりを通して多くの方との交流が図れる」であったり、「花づくりをしていると気持ちがいい」、「地域に花が増えて明るくなる」などの意見を多数いただいております。ボランティアの方々楽しく活動しやすい環境づくりをめざして、事業を実施していきたいと考えております。また新たな地域での子どもたちとの花植えによる交流であったり、花飾りの場所を増やしていくということにつきましても、ボランティアの方々のお声を聞きながら実施可能な場所を模索して実施する中で、地域コミュニティづくりのさらなる拡充を図っていきたいと考えております。

説明は以上です。

○岡本部長 ありがとうございます。今のご説明に何かご意見、ご質問。

花といえば佐々木委員でしょうか。

○佐々木委員 やっぱり確かに種花活動、一生懸命、女性部の人もしてくれているんですけど、水やりなんかがちょっとやっぱり負担みたいな話が出ています。咲いてきた花はとてもきれいで、そのときはいいんですけど、水やり、寒いときとか、やっぱり当番制というのでやっていますが、そこがもうちょっと工夫ができればいいのと違うかなというのと、今度も鶴見緑地のほうへもできましたので、若干今津のほうへ行くのが短くなってよかった。かなりそれはみんな喜んでおりますし、人も増えてくるとは思うんですけども、水やりの負担がね。それがちょっと何かいい方法があればいいのかなと思っています。

○山本総務課担当係長 水やりは花づくり広場での水やりの当番というところでしょうか。

○佐々木委員 そうです。朝のうちに行ったり、お仕事している人もありますので、その行くまでに水やりをやらないといけないというような話が出ていまして、そのの

ところが何かもうちょっといい工夫ができたらいいかなと思うんですけどね。

○山本総務課担当係長　　実際ボランティアさんの方々がそのように水やりをしていただくことによって花ができて、区内に出荷できるというところがございませので、そのボランティアさんのご苦労があって、本当に花ができていているというところは、こちらもすごくありがたく思っております。鶴見緑地の花づくり広場の場合、6地域が順番で水やりをしていただいております、6日に1回順番でしていただいております。

○佐々木委員　　夏場とかいつも、次はあなたのところよと、そういうような話がしょっちゅう飛び交ってますので。

○阪東魅力創造担当課長　　我々ももちろんその課題は認識してはいて、その水やりは、やっぱり芽が小さいときは底からやらないといけないとかですね。私も上から水を流すスプリンクラーみたいなものでやったらどうかと思ったんですが、芽が小さいときはできないらしいねん。水やりは、気長に人力でやらないといけないとか。課題としては認識しているんですが、朝も早い時間に水やりをしたいという人もいらっしやいますし。仕事に行く前に水まきをしたいが、9時からしか開けられないとかですね。

○佐々木委員　　自分らが鍵を開けられたら行けるんですけど、それはもうね、そこへ取りに行かないといけないと、そういう決まりなんだから仕方ないということで、それは納得したと思うんですけども。

○阪東魅力創造担当課長　　今日もちょっと作業に行ってきましたね、やっぱりその鍵開けるのがめんどろうだというふうな意見を聞きましてね。特に緑地域の人でしたら一旦公園まで鍵を取りにいかないといけない。それで広場に来て、開けないといけない。私たちも考えてはいるんですけど、今日この場でこうしますとなかなか言えないんですけど、課題として重く認識していますので、改善に向けて何か考えていきたいと思っております。

○佐々木委員 種花活動で楽しくやってはいるんですけどね。ちょっとそういう一部朝の水やりの時間、今の鍵の問題とかがあることを聞きます。

○阪東魅力創造担当課長 実際私も声を聞きました。

○柴田委員 ほとんどの花がそうですか。

○山本総務課担当係長 ほとんどの花ということではなくて。

○柴田委員 どのぐらい。

○山本総務課担当係長 各地域に約430株を出荷しております。

○阪東魅力創造担当課長 公民館とか福祉会館が多いです。

○柴田委員 各公民館でラベルをつけたらいいですね。

○山本総務課担当係長 種から育てる地域の花づくり活動というプレートも各地域にお配りをしています。こういう活動をしているというところを、またプレートの掲示をお願いしてPRしていきたい。

○柴田委員 私たちはわかってるんで、実際私もどの花がどこから来たというのまではわからない。

○佐々木委員 前はね、そういうことを公民館でもやったんですよ。シートしてあるちっちゃいのとかそこで種をまいてって。公民館の横でそういうことをしたんですわ。そういうのやったら楽やのにねという話は出てますね。

○山本総務課担当係長 実際、地域によってはそういうやり方のほうがやりやすいという声もいただいています。

○佐々木委員 場所のあるところですけどね。

○山本総務課担当係長 あとそういうご意見もありながら、今の種花活動というのはいろんな地域が集まってまたその交流を図るといような趣旨で、今は2カ所という形で実施させてもらっているんですけども。

○岡本部長 大変やね、夏場はね。

山本総務課担当係長 水やりが大変だというのはこちらも認識しております、本

当にありがたいことだなと思っております。

○柴田委員 自分の家だけでもね。

○岡本部長 そうですね。来年度の課題ということでよろしくお願いいたします。
次、行きましょうか。

それでは、続きまして経営課題6「幅広い区民ニーズと効果的な情報発信」についての説明よろしくお願いいたします。

○大山総務課担当係長 総務課区政企画担当係長の大山と申します。よろしく
いたします。では、座って説明させていただきます。

「幅広い区民ニーズの把握と効果的な情報発信」についてご説明します。

まず、広報と広聴につきましてこれまでの取り組みについて、ご説明いたします。

まず、広報につきましては、区民が求める情報を確実にわかりやすく提供するとともに、区民の区政への理解、関心を高めるということを目的としております。また、広聴につきましては、相談や要望に適切に対応する信頼できる窓口づくりを目的として掲げて取り組んでまいりました。

取り組みの実績としまして、まず平成26年度から広報紙の全戸配布を行っております。また、ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどのネット上での広報活動のほか、区内に61カ所ございます掲示板、地下鉄やJRの駅掲示板、イオンモールや三井アウトレットパークの掲示板など掲示板による広報を行っております。また、こちらの区政会議委員からいただいたご意見として昨年度から行っております青色防犯パトロールカーを活用した情報発信も行っております。また、今年度の新たな取り組みとしましては、区内高等学校との協働によるLINEスタンプの制作にも取り組んでおります。また、広聴につきましては、鶴見区版FAQの更新を随時行っております。また、区内事業所（署）等との連携を図っております。

次に、現状・課題についてですけれども、まず情報発信につきましては、ありとあらゆる媒体を活用して情報発信に努めておりますが、この中でもやはり区民の皆様の

お手元に毎月確実に届いている広報紙が最も有効な情報ツールであると認識しております。区民アンケートによりますと、広報紙自体は9割を超える方々に認知されているのですが、単に広報紙が家に届いているというだけでなく、読みたい、知りたいと思ってもらえているのか、十分に情報が伝わっているのかという点でまだ十分とはいえないと感じております。また、広聴の課題としましては、区民からの相談や要望、苦情について迅速かつ適切に対応するため、これまで以上に鶴見区担当の各事業所（署）等との情報共有や連携した対応を図ることが必要であると考えております。

平成30年度の取り組みの方向性につきましては、区民の視点に立って、あらゆる世代の区民が読みたいと思えるような広報紙のデザインや掲載内容など魅力的な紙面づくりについてさらに工夫していくとしております。また、ホームページやSNS、区内にあるさまざまな掲示板など各広報媒体についてもあわせて有効活用していきます。また、広聴につきましては、区役所や各事業所（署）等で受け付けた区民からの相談や要望、苦情に対して担当以外の部署で受け付けた内容であってもICTを活用するなどして、各事業所間でリアルタイムに情報共有できる仕組みを構築し、迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいりたいと思っております。

私からの説明は以上です。

○岡本部長 ありがとうございます。今のご説明、ご意見、ご質問ございますか。広報紙の紙面については、この後、会議が終わってからまたフリーディスカッションをします、お願いいたします。

○大原副部長 ホームページについてなんですけど、例えば僕ら区民まつりがいつなのかなという簡単にSNSで要は検索するんですけど、結構古いやつ出てくるんですね。古いやつって何かメンテナンスできないんですかね。出てこないようにするとか、難しいんですかね。

○大山総務課担当係長 そうですね。広報つるみなどのバックナンバーをホームページに掲載しており、大分削除したんですけども、過去3年分ぐらいは参考に置い

ておりまして、そういうので検索キーワードがヒットして昨年度のイベント情報がぼんっと出てきたりすることがあります。

○大原副部長　　例えばワールドフェスタとかも何かひよっとしたらあったかもしれないんですけど、前の情報がちょっと残ってたりしてて、ここであるんやと思ったから何か日にちが合わないなとか。

○大山総務課担当係長　　同じ事業名で出てきたり、検索キーワードで過去の情報がヒットしてしまったりということですね。

○大原副部長　　そうですね、そういう方もいらっしゃるかもわからないので、メンテは大変だと思うんですけどあってもいいかなと思うんですね。

○大山総務課担当係長　　そうですね、はい。

○大原副部長　　結構、多分そうやって探される方多いと思うんですよね、今の方って。何でも携帯で調べるみたいな。

○大山総務課担当係長　　そうですね。特にイベント情報については気をつけるようにいたします。

○岡本部長　　ほか、よろしいですか。大丈夫ですか。

○田中（潔）委員　　頼りにしてます。最先端のいろいろ言葉並べてるんで私らの年齢が、この何ていうんですか、ICTやとか何やようわからんですけど。でも最先端のあれでやっていただいているのは頼りにしてます。

○大原副部長　　例えばなんですけど、よく広報紙とかなんですけど、僕が実は化粧品会社にいてるので、よその会社の商品を買ってきて調べるんですよね。例えばコピーとかあるじゃないですか。キャッチセールスとか、ああこれこういうこと書いてるんだなど、これは伝わりやすいなとか。文字も例えば若者の二十歳の人間に対する化粧品と例えば私らみたいな50ぐらいになってきた人間に対する化粧品って文字のサイズが違うとか。受け手のことを意識したサイズにしてはるなとかいうのを学んだりすることがあるんですよ。A社さん全然考えてないなとか。ちょっと何か結構B社

さん考えてるなとか結構あるんですよ。それはそういうのもあると思うんですけど、例えばほかの区、ほかの市とかでちょっとこれはいい広報紙だなと話題になっているなとかいうものがあるって、それを取り寄せて解析とかするんですか。

○大山総務課担当係長　　毎月他区の広報紙は集めて区役所内で皆さんと共有して見ておまして。できるだけ広報担当ですので、女性誌とか町を通ってるときに気づいた民間のフリーペーパーとかというのは、参考にしながらデザイン業者と相談もってやっているんですけども、またそういうことも今日せっかくですのでまた後ほどご意見をいただけたらありがたいと思っております。

○岡本部長　　ほか、よろしいですか。もうこれで最後でございますが、大丈夫ですか。心置きなく。

○柴田委員　　いつって言われたらちょっと覚えてないんですけどね、よく広報紙に掲載されているスナップ写真、家族で写っているものとかああいうのは本人たちに許可を得て載せてあるの。

○大山総務課担当係長　　よくご家族の写真で顔を写しているのは広報紙の最後のページにイベントに参加された方からという形で載せているんですけど、必ず承諾は得て、承諾を得た方の連絡先もお聞きしています。

○柴田委員　　わかってるんですね。

○大山総務課担当係長　　わかっておりますね。

○柴田委員　　たまたまね、昔の知ってる子がもう成人した子が載ってたんでね、そういうのわかるんですね。

○大山総務課担当係長　　はい、取材するときは必ずお聞きしています。お断りされる方もいらっしゃるのをお聞きしております。

○奥本区政企画担当課長　　広報の腕章をつけてきちっと取材してますよということで、そのときに写真とかインタビューする際については趣旨はきちっと説明をさせていただいています。

- 柴田委員 小学校のとき転校していった子なんですけどね、たまたま。
- 奥本区政企画担当課長 その記事に載ってた。
- 柴田委員 写真が載ってたんです。結婚して、子どもと一緒に写ってた。
- 奥本区政企画担当課長 たまたま鶴見区内のイベントに来られてた。
- 柴田委員 そう、載ってたからね。
- 奥本区政企画担当課長 意外なところでまたおつき合いが始まるかも。
- 柴田委員 そうですか。
- 奥本区政企画担当課長 そういう形で、広報紙というツールでまた皆様方こういうコミュニティが醸成されていけばいいなと思いますね。
- 柴田委員 あまり写真で子どもの顔がわかるようには撮らなかつたりね、そういうの心がけますでしょう
- 奥本区政企画担当課長 確かに、それはきちっと注意して、事前には確認はさせていただきます。
- 柴田委員 いろんな媒体になるやなと思って。
- 奥本区政企画担当課長 つるみっ子写真館とかは割と好評ですけどね。3歳とか、1歳の誕生日とかでもらってるのが非常に多くの方から投稿いただいています。
- 柴田委員 投稿で。
- 奥本区政企画担当課長 投稿です、はい。
- 岡本部長 ということ、よろしいですか。はい。じゃあ、これで本日予定されている議題は全て終了ということになるんですが、最後に皆さんせっかくですので、2年間の感想などをいただきたいというふうに思っています。どこから行きましょう。こう行きます。
- 猿渡委員 とても有意義な時間を過ごさせていただきました。いかに知らんことが多いかというのを勉強させていただいた2年間やったなというふうに思いますし、関わらせていただいたことで自分自身が少し鶴見区が好きになって、僕全部鶴見区の

中で完結してる人間ですので、買い物に至るまで全て。住んでるところも職場も全て鶴見区ですので、もともと愛着はあったんでしょうけども改めて再認識することができてよかったなというふうに思っています。ありがとうございました。お世話になりました。

○岡本部長 ありがとうございます。次、柴田さん。

○柴田委員 何かあまりよくわからない間にあつという間に終わったような感じなんですけど、こんだけのメンバーの中で鶴見北3人も含まれてますのでね。何かいろいろ見抜かれていることばかりなのでいろいろ話づらいなと思いましたけど、私は自分が今まで地域でやってきたことを踏まえてしかよう話ができなかったなと。あまり広くは話できなかったなという反省もありますけどね。お役所の方といろいろお会いできてよかったなと思っております。ありがとうございました。

○岡本部長 田中さんよろしくお願ひします。

○田中（潔）委員 私も、どうしたらいいのかな、とにかく行事多いですね。皆さんお休みちゃんと取れてるんですかね。働き方改革とか何とか言ってるけど、役所の方ね。ご苦労さまです。本当にありがたいと思っております。鶴見区をどんどん盛り立てて、こないしてやっていただいていることに感謝いたします。何も今まで知らなかったんですけど、ちょっとウォッチャーの端くれをやらせてもらいまして、いろんな行事、たくさんいい行事を一生懸命やっていただいていることにただただ感謝するだけです。まだこれからも頑張ってください。

○大原副部長 私も今年で鶴見区に引っ越してきてちょうど20年になりまして、自分ももともと、5、6年前、10年前まではやっぱり地元の生野のほうだったんですけど、たまに一月に1回は帰るので落ちつくなというのがあったんですけど、気づけば鶴見区のほうがちょっと落ちつくようになってきたなというのが最近思ってます。もともとこの区政会議をやらせていただくときに、住ませていただいているので、やっぱり地域の活動もやってたんですけど、それぐらいのお役立ちはしなくちゃいけ

ないなというのでもともと始めてたんですけど、そういう気持ちから始まって一応私4年やらせていただいて、実は毎回敷居が高いなと思いながら、鶴見区のためにも意見ができればなということでやらせていただいたことは自分にとってもすごく経験になりましたし、ちょっと勉強もさせていただきました。ただ毎回来てもわからないこと多いなと、猿渡さんじゃないんですけど私も全然わからないことだらけで、いつもちょっとうるさいもの、書類を見せていただいていろいろ知ることができてすごく勉強になりました。本当にこちらのほうから実はお礼が言いたいくらいで、でももう呼ばないでいただいて結構なので、もう4年やらせていただいたので本当にありがたかったと思います。どうも本当にありがとうございました。

○岡本部長 私も足かけ6年、区政会議もようやくこれで引退させていただけるところなんですけど。最初6年前行ったときはすごく対立軸が、役所の中と民間がね、あったような気が、すごいぴりぴりした会議やったんですけど、ここに来てやっぱりすごい非常に対話ができて、役所の方もすごい前向きにやっておられるんやなというのをすごい気づかされてね。私らもすごい居心地のいい会議やったかなというふうに。ほかの委員の皆さんもすごいいいご意見、前向きなご意見ばかりで本当に皆さんすごいなというふうに思っております。ただ、私もボランティア、青指の中でずっとやってきてやっぱり行事多いんですよ。やっぱりやらされ感が出てくることも多々あったんでやっぱりそこらへんところうまく役所の方とコラボしながら楽しいボランティアができるように我々の後輩がまだまだやる気十分に持ってやってると思いますので、ぜひ彼らと一緒にまた楽しいイベントを企画してあげてほしいなというふうに思います。どうもお疲れさまです。ありがとうございました。

○佐々木委員 私も4年やらせていただきまして、皆さんが本当によく勉強されること、感心しましたね。いろんなことに皆さん興味を持って、私はある1点しか見てなかったことでも、いろんな人が、それぞれが1点しか見てないことでもやっぱり人が寄るとそれだけの種類のことがわかるということで、本当に勉強させていただきました

ました。私もこの4年間で感じましたことはね、最初はすごく固かったですね。自分もそうですけど全体的にね。そしていろんな問題が出てその結果の報告の方法とかも大分違ってたと思うんです。今でしたら、ああ、あれがこういうことになったんやねと、文章の中でもあのとき出ていた問題がこういう結果になってんやねというようにわかるような報告の仕方になってきたと思います。最初は、あのときはあんな話出てたけどあれからどうなってたんかなというようなことが再三あったような気もしますし、そんなことも言われてた人もいました。同じことを何遍も言っても結局は一緒やったというような意見も言った人がありましたけど、私現在は今は全然違うと思います。いろんな意見を言ったことはそれなりの結果が出てちゃんと報告されているということで、随分見方が変わりました。皆さん一生懸命頑張ってやっていただいているんだということで、もっと鶴見の人ね、ほかの人皆知っていただきたいなとそういう思いで過ごさせていただいています。本当にどうもありがとうございました。

○岡本部長 お疲れさまでした。では、閉会に当たりよろしいですか。区長、よろしく願いいたします。

○河村区長 皆さんこんばんは。本日もお忙しいところありがとうございます。期間の長短はありますけれども、区政会議委員としてこの間いろいろお力添え、また貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。引き続きお世話いただく委員の方もおられますけれども、とりあえず今日がこのメンバーでの一区切りということでございます。

この部会は、言い方はちょっと語弊があるかもしれませんが、イベントであったりとかいろんな行事、また広報も含めて前向き感がある部分もございまして、例えばほかの保健福祉の話であるとか、子育て支援の話であるとか、教育の話であるとか、やっぱり日々の生活に密接に結びついている部分がございますので、なかなかシビアな部分もあるんですけども、この会議については魅力の創造・発信、また広報ということで、本当に皆様方の意見を組み入れてどうしていくかということが非常にや

りやすい部会ではなかったかなというふうに思っております。

ただ、先ほどからもありますように、限られたマンパワーの中で、また予算の中でいかにこう事業を本当に効果的にやっていくかということが非常に大事だと思っておりますし、手を広げようと思えばそれは何ぼでも広げられるんですけども、それはやっぱり先ほどもありましたように似たような事業と連携できないかとか、民間とコラボできないかとか、そういった観点も含めて今後、事業の再構築をやっていかなければならないというふうに思っております。物によっては区役所が何でするねんというようなご意見もあるかと思っておりますけれども、それはやっぱり区に愛着を持っていただく、いかにこう鶴見区に住んでいたいと思うかというような観点から我々も事業をやっているつもりなので、そういった観点から個々の事業、本当に効果的かどうかという点を見ていきたいなというふうに思っております。

また、広報という点についてもいろんなご意見をいただいているんですけど、なかなかこれも合格点というのがなく、いただいたご意見を踏まえていろんな改善等をやっているんですけども、やっぱりどこまでやったらいいねんというふうなことが日々あるかと思っておりますので、それも日々改善していくという観点で、また意見も踏まえてやっていきたいなというふうに思っております。そういう意味でこの後、終了後またちょっと違うしつらえで、ざっくばらんといいですか、ご意見を頂戴したいなと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

本当にこの2年間、この区政会議の運営に本当にご尽力いただきましてありがとうございました。心より御礼申し上げます。また引き続き委員を外れられた方もまたバックアップをしていただければというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

○岡本部長 ありがとうございました。最後になりますが事務局から何かございますか。

○浅田窓口サービス課担当係長 本日は多くの意見をいただきありがとうございました。

した。最後に本日お配りさせていただいておりますアンケートについて、ご協力をお願いいたします。6月に実施いたしました区政会議においてもご協力をいただいたところではございますが、平成29年度8月に策定いたしました大阪市改革プラン2.0区政編に基づき大阪市の統一様式によるアンケートを実施することが必要となりました。再度、お手数をおかけすることとなり大変申し訳ございませんが、本日中にご記入の上、お帰りいただけたらと存じます。

○岡本部長 どうもありがとうございました。では、皆さん2年間本当にありがとうございました。拙い司会で、途中で私ごとでちょっと半年ほど出られなくて大原副部長にご迷惑を。ありがとうございました。一緒にしていた木村委員、急逝されて非常に残念な、すごいパワーをお持ちだった方なんです、非常に残念だと思っております。先ほどもありましたけど私らは外れますが、また次、区政会議に出られる方はぜひこの感じで役所の方とコラボしながら、ぜひ楽しい会議をしていただきたいなというふうに思います。

そういうことで、鶴見区の区政会議第2回つる魅力向上部会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。お疲れさまでした。

○浅田窓口サービス課担当係長 つる魅力向上部会はこれで終了いたしますが、案内文に通知させていただきましたとおり、この後、少し休憩を挟みまして、隣の会場に席を移しまして広報紙に関するフリーディスカッションを行いたいと思います。忌憚なくご意見をお願いいたします。それでは、8時5分ぐらいから開催させていただきますので、よろしくお願いいたします。

閉会 19時58分